

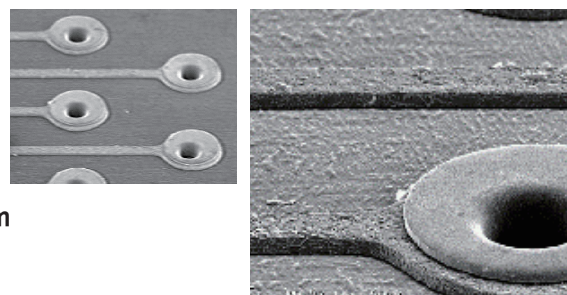
製品特徴

スルーホールのみめっきすることにより、
パターン配線は銅箔本来の厚みと特性を活かすことができます。
高精度のインピーダンスコントロールが可能となり、
→高速伝送用途に適しています！

- パネルめっき法と比較し、柔軟性・屈曲性に優れ、極薄化が実現！
- これまで困難だった狭ピッチパターンでのボタンめっきも可能！

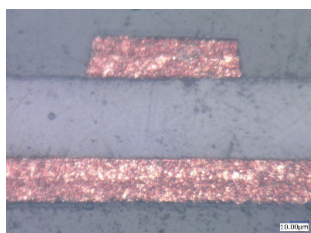
製品仕様例

- スルーホール径 : $\phi 100\mu\text{m}$
- ランド径 : $\phi 300\mu\text{m}$
- ボタンめっき径 : $\phi 240\mu\text{m}$
- ボタンめっき厚み : $15\mu\text{m} \sim 25\mu\text{m}$
- ベース材 : ポリイミドまたは液晶ポリマー $25\mu\text{m} \sim 50\mu\text{m}$
- ベース Cu 箔厚み : $18\mu\text{m}$

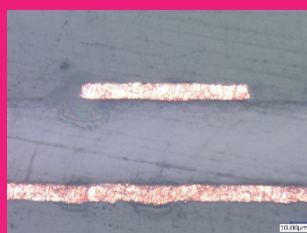


パネルめっきとの導体厚み比較

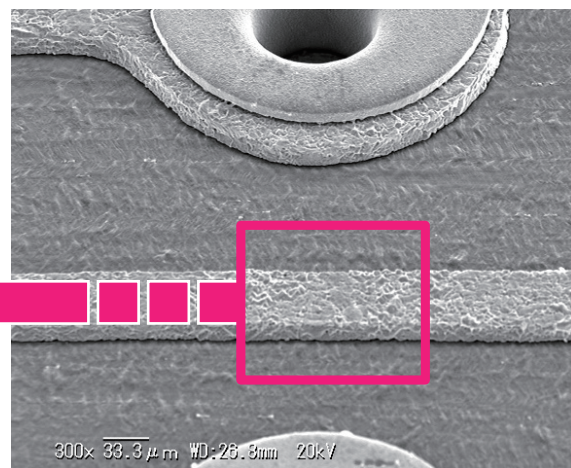
パネルめっき品
銅厚 $27\mu\text{m}$
(銅箔+銅めっき)



ボタンめっき品
銅厚 $12\mu\text{m}$
(銅箔のみ)



□部分の断面観察



ボタンめっき品は赤枠で囲んだパターン箇所をめっきが付いていないため、パネルめっき品と比べて厚みを薄くすることができます。

信頼性評価

JIS C5016 9.2 項
温度サイクル試験
-65°C 30分 ~ 125°C 30分 100 サイクル
で接続抵抗の規格値 $\pm 10\%$ 未満を達成しています

